

3 月下旬から4月のソメイヨシノが満開になる頃、地上では春の訪れを感じてゾワゾワしてゐる頃。磯でも、海水温が徐々に上がり始めて場所にもよりますが、15度から16度台の上がり調子で、海中の魚の動きもゾワゾワしてくる頃です。そこで、今回はゾワゾワして来る魚達をターゲットに、いろいろ考えてみようと思います。(クロだけを考えるとボウズになるおそれがあるため！)

カセ釣りやカゴ釣りによく釣れます。大きさは、50cm前後から70cm前後がメインの大きさで、釣ってヨ

シ！食べてヨシ！見てヨシ！で、恵比寿様が持っている魚なので日本人は皆大好きですね。

イサキと言え、夏のイメージがあるかも知れませんが、実は乗っ込み

はこれからの梅雨前後で、今の時期は「ハシリ」で脂をたくわえ始めて、食味は最高です。大きいのは、40cmを超えて45cmぐらいまでは釣れます。(私の記録は、南薩の久志で釣った47cmの特大サイズ。)

《オナガ》

クロが産卵に入ると、食いが良くなるのがオナガグロ、と言うよ

り、クロが居なくなり、オナガグロの口元までエサが届くようになり、アタリが増え出すのが、春から梅雨時期にかけてで、浅ダナで食う時もあれば、深ダナで食ったりと水温と潮にすばやく対応できる魚です。

また、食味も最高で、これから夏場にかけて脂が乗って、白身のコリコリ感がたまらないです。小さい

《マダイ》

クロが産卵に入り、次にノッコンで来るのは、チヌやヘダイ、そしてマダイ。私が好きなのはマダイで、家族や近所の方々も、クロよりも喜んでくれます(複雑です)。マダイ釣りと言ったらメインは船釣りですけど、磯からも、今の時期は、フ

した。長島は茅屋港のしらなみさんで、前日に船長に連絡を入れると、「明日は、南風で強かで、赤島しかダメやっど！」さらに「水温が13度やっど、クロは、どげんかな？」。電話の向こうから「釣れんど。来ん方が良かど」と言われていますが、私の返事は、「こです。行きます。何でも釣ります」

日曜日しか釣りに行けない私にとって、茅屋港のしらなみさんは、神様、仏様、しらなみ様なのです。また、この日は、強風波浪注意報が鹿児島県全域に出ており、低水温、強風、「長潮」とある意味おそろしい組み合わせですが、釣りが

できるうれしさの方が、まさっている私達は変ですか？とりあえず、上物のA級釣り場の「赤島の下」には、釣友3人に乗ってもらって、私達は、反対向きの「赤島の上」に、他のお客さんも赤島まわりに降りて釣りスタートです。早速マキエサ作りです。



特集:

春磯は、釣れる魚は何でも... Let's go!! 「クロ マダイ イサキ オナガ チヌ」

野間辰美



食い渋りや風など、いろいろな条件が予想され、「アミパーワグレ」と「V9」の強力配合に「遠投ふかせTR」を足してさらにパワーアップ!!



最初の仕掛け手読みをしながら考えるところ面白いですね!

《マキエサ》

今回、風が強い・低水温・長島なので流れがある、等を考えて用意したのは、オキアミ(生)3Kgを2角。アミエビ1/8角を2角とマルキューのグレパワーV9とアミパワーグレスペシャルと遠投ふかせTRを各袋つ準備して、これを2回に分けて作ります。水加減に気をつけながら、いいねいに作ります。これをおろそかにすると、釣れるものも釣れなくなってしまうヨ!

《実釣》

朝8時釣りスタート。今ちょうど干潮の潮止まりで、これから上げ潮が左から右に流れ始める予定です。マキエサを入れて海中を観察しますが、マキエサは直下に、魚はほとんど見えませんが、イラ(通称ハトボツボ)が「匹ウロウロ」しています。そこで、まず潮が動き出すまで左、右、手前、沖とマキエサを

《クロ》

その口太グロですが、春の3月、4月、5月のゴールデンウィーク頃は、産卵後のクロと抱卵しているクロが混在していたりするので、難し

足の裏サイズでも、脂がのつておいしいですよ! ただ、釣り上げるのはちよつとやっかいで、ハリを飲まれたらかみ切られるし、パワーもすごいです。同じクロでも、口太グロとは引き方やパワーは倍ぐらい強いと感じます。

《実釣》★

長島 茅屋港

しらなみ様

2月21日(日)に鹿児島県の北薩の長島に釣友5人で行って来ま